

家畜防疫の基本は 「飼養衛生管理基準」の遵守

～みんなで守って、
病原体の侵入を防ぎましょう！～

養豚版



適切な飼養衛生管理



公益社団法人新潟県畜産協会
新潟県

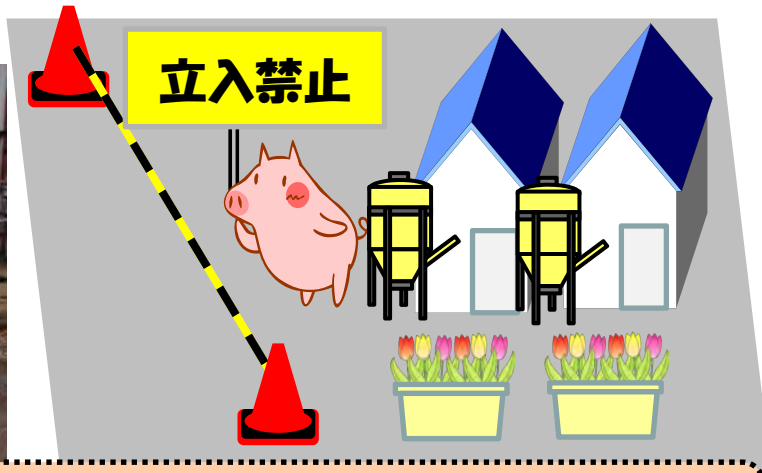
1 農場への病原体の侵入を防ぎましょう！

伝染性疾病から豚を守るには、病原体を農場へ侵入させないことが重要です。飼養衛生管理基準を遵守し、病原体の侵入防止対策に努めましょう。

☆ 立入制限

農場の出入口に「部外者立入禁止」の看板を設置するなど、農場への人及び車両の入場を制限しましょう。

<立入制限の例>



看板と併せ、柵・ネット・消石灰の白線・プランターなどを設置している農場もあります

☆ 導入豚の隔離

導入の際は、導入元の情報把握や導入豚の隔離などに心掛け、導入豚を通じ病原体が農場へ持ち込まれないよう注意しましょう。

<導入時の注意事項>

- ◎ 導入元農場の衛生管理状態の把握
- ◎ 各種検査証明書の確認
- ◎ 導入豚は臨床的に異状がないことを確認
- ◎ 輸送車両の洗浄・消毒の確実な実施
- ◎ 導入豚の隔離場所の確保と事前の消毒
- ◎ 導入豚の一定期間の隔離飼育と健康観察

<隔離の例：隔離豚舎>



動力噴霧器で畜舎消毒



専用長靴

自農場内で隔離する場合は、既存豚と導入豚が接触しないよう注意してください

☆ 車両の消毒

農場の出入り口に消毒施設を設置し、入場する車両を消毒しましょう。

<車両消毒の例>



動力噴霧器による消毒



車両消毒ゲート

☆ 手指や靴底の消毒

農場や畜舎に出入りする際には、手指の洗浄または消毒及び靴の消毒を常時行いましょう。

<踏込消毒槽の例：消石灰乳を活用>

水1ℓに対し消石灰
10~100gを入れる
(逆性石けん消毒液
を加えるとさらに効
果的！)



※ポイント

- 畜舎専用の長靴を用意する
- ブラシで汚れを落とす
- 消毒液を定期的に交換する
- 張り紙をする



⚠ 消石灰はアルカリ性です。酸性の消毒薬(ビルコン・クレンテなど)と混ぜると中和され効果がなくなりますので、注意してください。

⚠ 消石灰は目や皮膚、呼吸器に刺激性があるので、使用時は注意してください。

参考：消毒薬の種類と効果

(鹿児島県肉用牛振興協議会資料 一部改変)

消毒薬の種類	細菌		真菌	ウイルス※		コクシジウム	使用対象					金属腐食性
	一般細菌	芽胞菌		エンベロープ有	エンベロープ無		畜舎	器具	踏込槽	畜体	車両	
逆性石けん パコマ、クリアキル、アストップ等	◎			○			◎	○	○	◎	○	
塩素系消毒薬 クレンテ、アンテックビルコンS等	◎	◎	○	◎	◎		○	○	○	○		強
ヨード系消毒薬 バイオシッド、クリンナップ等	◎	○	○	○	◎		○	○	○	◎		強
アルデヒド系消毒薬 グルタクリン、ヘルミン等	◎	◎	◎	◎	◎		◎	○	○		○	
オルソ剤 ゼクトン、タナベゾール等	◎		○	○		○	○	○	○			
消石灰	◎		○	○	○		○		○			

◎: 使用に最適

※ エンベロープ有: 牛伝染性鼻気管炎、牛ウイルス性下痢粘膜病、牛コロナウイルス病 等

○: 使用に適する

エンベロープ無: 口蹄疫、牛アデノウイルス病、牛ロタウイルス病 等

⚠ 消毒薬の使用に際しては、使用上の注意事項を確認して用法用量を必ず守ってください。

2 悪性家畜伝染病に備え準備をしましょう！

現在、我が国では口蹄疫や豚コレラなどの悪性家畜伝染病の発生はありませんが、近隣諸国では現在も後を絶たない状況です。万が一に備えた準備をしてください。

- ◎ 伝染病の発生予防などに関する情報の把握
- ◎ 毎日の家畜の健康観察とともに、特定症状等が確認された場合の家畜保健衛生所への即時通報
- ◎ 農場に立ち入った人や車両、導入家畜の記録と保存
- ◎ 埋却用土地の確保や候補地のリストアップ

☆ 口蹄疫

我が国では、平成22年に宮崎県で292件発生し、ワクチン接種したものを含め約30万頭の家畜が殺処分されました。

【家畜保健衛生所への届出が必要となる「特定の症状」の例】



蹄冠部皮膚のびらん



蹄球部皮膚の潰瘍



蹄の剥離



鼻端の水疱



鼻平面の潰瘍



乳房、乳頭の水疱、痂皮

39. 0度以上の発熱、泡状のよだれ、口や鼻、蹄、乳房などに水ほうやびらん、同腹の哺乳豚が2日以内に半数以上死亡するなどの症状がみられた場合は、家畜保健衛生所へ届出てください。

☆ 豚コレラ

韓国において3年ぶりの発生が、平成28年6月に済州島で確認されました。



<主な症状>

- ・日齢に関係がなく、高い発病率と伝染力を示す
- ・高熱や元気消失等により急性経過で死亡

<今回の事例>

- ・モニタリング検査で確認、臨床症状は認められず
- ・済州島は清浄地域のため、ワクチンは非接種
- ・韓国本土では、ワクチン接種等により平成25年を最後に発生していない

<我が国の状況>

- ・平成4年の発生以降、現在まで発生はなし
- ・平成8年から撲滅対策を実施、平成19年4月に清浄化達成

子豚の下痢を防ぎましょう

子豚の下痢はその後の発育に影響します

豚の下痢の原因として、感染性と非感染性があり、主に以下のものがあります。

<感染性>

- ウイルス：豚流行性下痢(PED)、豚伝染性胃腸炎(TGE)
豚ロタウイルス病…
- 細菌：大腸菌症、壊死性腸炎、増殖性腸炎、サルモネラ症…
- 寄生虫：豚コクシジウム病、豚鞭虫症、バランチジウム症…



<非感染性>

- 環境性：温度、湿度、風(吹き上げ)
- 食餌性：母豚の乳量不足、固形飼料への急変、過食・過飲、水…

<病原体による発症日齢と発症時期>

病名	PED、TGE	豚ロタウイルス病	豚大腸菌症	豚壊死性腸炎	豚増殖性腸炎	サルモネラ症	豚コクシジウム病
好発日齢	0～180日齢		0～90日齢	0～28日齢	28日齢～(離乳時～)	28～120日齢	7～28日齢
症状	急性	慢性	哺乳：急性 離乳：慢性 浮腫病	急性	離乳：慢性 肥育：急性	敗血症型 腸炎型	慢性
便	黄白色 水様～泥状		黄色 水様～軟便	水様性 血便	水様～黒色 タール状	黄褐色 水様～泥状 (悪臭)	灰白色 水様～泥状 (異臭)
死亡率	高い (14日齢以下)	低い (15%未満)	高い (5日齢以下、 浮腫病)	高い (3日齢以下)	高い (120日齢以上)	高い (敗血症型)	低い
好発時期	冬季	通年	通年	通年	通年	通年	夏～秋季
予防薬	ワクチン	無	ワクチン (K88)	ワクチン	ワクチン	無	抗コクシジウム剤

<感染性下痢の対策>

※病原体の種類に係わらず、以下の対策が共通して重要となってきます。

○侵入防止の徹底

- ・出荷車両の洗浄・消毒の徹底、農場専用衣類と長靴の着用…

○農場内に残存する病原体の除去

- ・アウト後の豚舎の水洗、消毒・乾燥の徹底
(水洗で糞便を十分に除去した上で消毒を行う)

○ストレス要因の除去

- ・すきま風、豚舎内温度、飼育密度…



PED:黄白色水様性の下痢

⚠️ ① 病原体の特定及び病原体毎の細かい対策に関するお問い合わせは獣医師または最寄りの家畜保健衛生所にご相談ください。

地域みんなで考えて、 協力し合い取り組みましょう

もっと詳しく知りたい！よくわからない？ 場合には、
家畜保健衛生所にお問い合わせください。



家畜保健衛生所	住所	電話番号	FAX番号	メールアドレス
中央	〒959-0423 新潟市西蒲区 旗屋686	0256- 88-3141	0256- 88-3185	ngt066010@pref. niigata.lg.jp
中央 佐渡支所	〒952-1209 佐渡市 千種264	0259- 63-2676	0259- 63-4781	ngt066011@pref. niigata.lg.jp
下越	〒957-0015 新発田市 東新町1-7-6	0254- 22-3067	0254- 24-4022	ngt066020@pref. niigata.lg.jp
中越	〒949-7413 魚沼市 堀之内2914-2	025- 794-2121	025- 794-5400	ngt066040@pref. niigata.lg.jp
上越	〒943-8551 上越市 本城町5-6	025- 526-9441	025- 522-1724	ngt066060@pref. niigata.lg.jp

公益社団法人 新潟県畜産協会
〒950-1101 新潟市西区山田字堤付2310-15
☎ 025-234-6781(代表) fax 025-234-7045
E-mail chikusan@bg.wakwak.com



平成28年度 自衛防疫体制強化推進事業
(地域自衛防疫対策推進活動)
(飼養衛生管理基準啓発推進対策)